

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 12月 27日

事業所名 松ぼっくり

討議日:令和4年12月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		たいようの部屋は母子が全員揃うと密になってしまうので使用する時間をずらすようにしている	6組の親子が一部屋に集合しないように気を付けてはいるが、時々集まってしまうことがある
	2	職員の配置数は適切である	○			日によってバラつきがある。多い日は事務作業をしてもらっている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		構造化はしている。洗面台などは踏み台を用意している	バリアフリー化は(-)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除機は一日一回している。おもちゃはグループ後に消毒している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ケース検討を実施	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		チームで話し合い、立案している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査の結果は活用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		表にまとめて取り組むようにしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月1回の職員会議で決定している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定することで定着を狙っているため。内容は変えている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		場合によっては個別対応をしている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		その日の役割や活動のねらいについて共有するようにしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		全員で実施している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1回モニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて、役所、教育委員会、幼稚園、保育園と連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当するお子さんが利用していません。対象時がないため。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当するお子さんが利用していません。対象時がないため。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		見学や来所など必要に応じて連携している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		支援シート必要に応じて連携している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		センターとの連携はしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		対象児が幼稚園、保育園に属しているため必要がない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		母子同室なのでその場で確認している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		教材づくり、懇談会、勉強会のお知らせなど	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		母子同室のため、その都度相談に乗っている。 必要に応じて面談も実施	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		懇談会の実施	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		意見箱を設置している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一回月案を配布 ホームページ	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		目で見て分かる形で伝えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナのため実施できていない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			感染症マニュアルは策定している 月に一回防災訓練を実施
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一回防災訓練を実施 グループ内でも実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			母子同室のため
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		持参した水分以外は飲食の場面がありません 調理、おやつなど食べる機会がないため
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日誌にて共有	事例集は作成していないが、日誌には記載している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止セルフチェック あおぞらプランの研修	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明している 保護者には十分に説明している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 12月27日

アンケート期間:令和4年10月17日~11月30日

事業所名 松ぼっくり

配布数: 28 回収数 19 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18	0	0	1	・人数が少ないので今の広さがちょうど良いと思う・活動内容によって机や椅子をレイアウトしていて専門性を感じる・広々とした他施設もあったが、広すぎると目が行き届かない等の理由があるなら良いと思う	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	18	1	0	0	・子どもの出席に合わせた人数で全員の子どもが目配りもちゃんとしており、私にはわからないことを答えてくれて助かっている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	3	0	1	・アットホームで子どもが嫌がらない空間を作っていると思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18	1	0	0	・こまめに換気がしてあり安心した・洗面所の蛇口がゴムテープで補強されているのが気になる	洗面ボウルの栓を塞いでいます。新しい物に取り替えます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	19	0	0	0	・専門的な目線で見てくれて、詳しく教えてもらい納得する内容で作成されている・普段相談していることや子どもの行動を見て作られていると思う	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	0	0	1	・困っている課題を優先的な支援を目標に、また子どものペースに合わせた内容になっている	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	19	0	0	0	・説明されて納得した支援でちゃんと行っていると思う・今日のねらいがボードに掲示されており、先生のフィードバックも合わせて支援計画に基づいている	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	17	2	0	0	・子どもが楽しく工夫された内容で嫌がらずにやっている・慣れてきた活動に変化が加えられてより集中して見る、聞くことにフォーカスするよう自然にできていると思う	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	1	5	5	・もともとこのような機会がないのでわからない・積極的にやってほしい	保育園や幼稚園に通っているお子さんが利用しているため、所属している園で他のお子さんとの機会を得ていると考えております。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	18	1	0	0	・そういう内容の用紙が配布されている	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	19	0	0	0	・内容が書かれた用紙に先生が説明を細かく話してくれている	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	17	1	0	1	・先生のアドバイスを参考に実践している	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	18	1	0	0	・長く通所しているので子どもの状況が把握されていると思う・活動後のフィードバックで先生の視点からも子どもの状況等が分かるので勉強になる	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	19	0	0	0	・結構長い時間相談に乗ってもらい、事細かく話してくれている	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	11	2	4	2		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	18	0	0	1	・相談はすぐに答えてくれるし、忙しくて当日に返事ができないときも次の時に声をかけてくれて答えてくれる・家庭の中で困っていることを相談し、どのように接することが子どもにいいのかを都度アドバイスをいただけるので親のやり方を見つめ直すことができる	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18	0	0	1	・親子共々まめに声かけくださり、親は相談に乗ってくれたり子どもには遊んでくれて助かっている	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	18	0	0	1	・子どもが今まで支援して成長してきたところ、今後伸ばしていきたいところを一对一で話してもらい、助かっている	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	17	0	0	2	・周りに聞かれたくない話しは個室で相談してくれる	
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	13	1	3	2	・特に感染対策は手洗い、換気、体温を測るなどしっかりされている	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	13	2	4	0	・子どもにはわかりやすく説明して落ち着いて避難できたと思う	
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17	1	0	1	・先生も友だちも付き合い方が良好で嫌がらずに行っている・先生達がすごく褒めてくれるのでニコニコで活動出来ている・幼稚園とは違う環境で学んだり、遊んだりできるので楽しみにしている	
	23	事業所の支援に満足している	18	1	0	0	・子どもも良い方向に成長してこちらに通所できて良かった・相談したことにアドバイスをいただき、実践して生活に変化が出て私も子どもも成長していると感じる	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表:令和 4年 12月 27日

事業所名 松ぼっくり

討議日:令和4年12月 6日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一部屋の人数が多くならないように、時間を分けている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			水回りは子ども用のサイズになっていないので、踏み台などを使用している パーテーションを使用し、環境設定の工夫をしている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			参加出来ないときは日誌で確認している 打ち合わせ時に前回の振り返りして、共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートは1年に1回実施 改善が難しい内容もある
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ケース検討を行っている
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査の内容を参考にすることはあるが、療育の中では行っていない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で話し合って決定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			繰り返しが必要なお子さんに対しては同じ活動を設定することがある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・夏休みは特別なプログラムがある

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要に応じて個別の対応をしている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りに参加出来ないときは、記録を確認し共有している 次回の打ち合わせで、振り返りも実施し職員間で共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回モニタリング実施	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			該当するお子さんがいない	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			受け入れをしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				児童発達支援事業も行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				3年生までの利用 その後同じ法人への引継ぎをしている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				必要に応じて連携をとっている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		狙いとしていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎のときに振り返りをしている 必要に応じて面談を実施している
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				ペアトレは実施していない。課題解決には面談の上対応の仕方などを支援している	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に保護者に伝えている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて相談や面談を実施している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナのため、分散して懇談会を行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			意見箱を設置している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ、LINEワークスなどで発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて紙面での説明を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は行っていない コロナのため行っていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			掲示しており、いつでも閲覧可
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回実施している グループ中に取り組んでいる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			所内研修を行っている 虐待防止セルフチェック実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	契約時に保護者に伝えている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供は無い 買い物に出る際は、保護者にアレルギーの確認をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			業務日誌に記載 全員日誌を確認している

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

公表:令和4年 12月27日

アンケート配布期間:令和4年10月17日～11月30日

事業所名 松ぼっくり

配布数:52 回収数:33 割合 68%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見についての対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3	0	運動の活動の時に、少し狭いと思う時がある。	活動の内容の工夫と、環境の設定をしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	15	1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32	1	0	外の活動が少しあるとありがたい。	外出する企画を検討していきます
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	11	18	交流する機会はないが、特に希望していない。通常は小学校に通っているため。学校の交流級以外はないので、スタッフと一緒に交流の場は欲しい。	個別支援計画に基づいて、達成感を得たり、自己肯定感を高めるために、個々の特性に合わせた支援を行っているため、交流の機会は設けておりません。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	2	0	グループの後、その日の様子と、保護者の相談にものってくれる。入口での話しは大事な内容、プライバシーをお互いに聞こえやすのではないかなと思う。	個別的な内容については、場所を変えることなどを検討していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	2	0	親の何気ない一言から、気持ちを分かってくれ、つらい時間談してくれました。小さなことでも気軽に話せるのは安心。もう少し、面談や懇談があると有難い。	・面談はご相談があれば随時行っています。 ・懇談会については、コロナの状況を見ながら検討していきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	18	5	父母の会がない。保護者同士、顔を合わせることが少ない。	父母の会は有りませんが、少人数での懇談会を実施しています。参観日についても検討します。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	10	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	9	1	HPIに載っているのを見た。	
	14	個人情報に十分注意しているか	32	1	0		
非常時等	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	9	0		

の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	20	2		
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	29	4	0	とても楽しみにしています。回数が少ないのが残念です。	現状の利用者数では、月1回のご利用となります。
	18	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	月に一回だと少なく感じる。もう少し時間が長くていいと思います。	多方面の小学校からお集まり頂いているため、90分の提供となっています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。